

「家の自転車より快適」がモットーのレンタサイクル事業を実施。来街者の利便性が向上するとともに、中心市街地の回遊性が高まる。

宮崎商工会議所

機関名	宮崎商工会議所			
所在地	宮崎県宮崎市橋通東1丁目8番11号			
電話番号	0985-22-2161			
地域概要	(1)管内人口	308千人	(2)管内商店街数	21商店街
事業の対象となる商店街の概要	(1)商店街数	8商店街	(2)会員数	368商店
	(3)空店舗率	12.0%	(4)大型店空き店舗数	0
	宮崎駅前商店街振興組合他7商店街			
商店街の類型	1. 超広域型商店街 2. 広域型商店街 3. 地域型商店街 4. 近隣型商店街			

【事業名と実施年度】

平成16年度 コミュニティ施設活用事業（商店街利用者支援サービス施設）
 ・レンタサイクル事業
 総事業費 6,420千円

【事業実施内容】

1. 背景

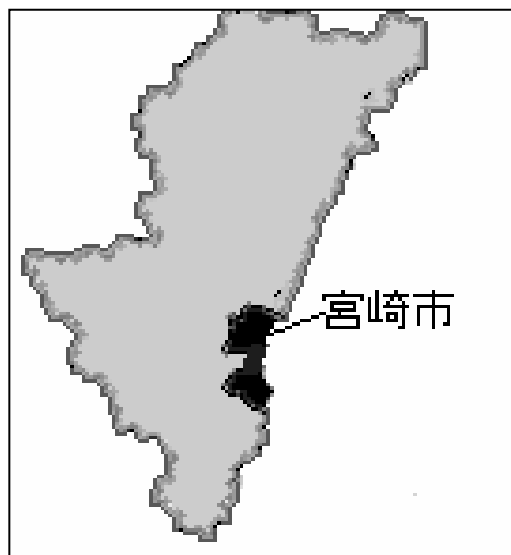
宮崎市は九州の東南部太平洋岸に位置し、年間平均気温18.2度と温暖な気候に恵まれ、国定公園日南海岸に続く「宮崎・日南海岸リゾート構想」は、昭和63年にリゾート法の第一号の承認を受け観光振興に力を入れてきた。

毎年、県内外から多くの観光客が訪れていたが、不況の影響からか平成11年に約687万人であった観光入込み数が、平成15年には471万人にまで減少してしまった。

宮崎市の中心市街地は、県都として県内全域から訪れる多くの買い物客で賑わっていたが、郊外への大型店出店等により空洞化が進み、空き店舗が目立ってきた。

平成10年12月に中心市街地活性化基本計画を策定した。以降、中心市街地の賑わい再生、そして来街者の利便性向上、地域コミュニティの形成を図るため、数多くの事業を実施してきた。

これら事業のうち、経済産業省の商店街活性化支援事業を活用し実施した事業は、以下のとおりである。



宮崎市の位置（宮崎市HPより加工）

<空き店舗対策事業、活性化対策事業>

実施年度	事業名		
平成 12 年	チャレンジショップ事業	多機能カードシステム導入 (クレジット、デビット)	—
平成 13 年	チャレンジショップ事業	多機能カードシステム導入 (IC、ポイント)	まちなか情報拠点整備事業

<コミュニティ施設活用事業>

実施年度	事業名		
平成 14 年	まちなかプレイパーク	—	—
平成 15 年	まちなかプレイパーク まちなかキッズルーム	コミュニティスペース 「gaga8 (ガガエイト)」	レンタサイクル事業
平成 16 年	まちなかプレイパーク まちなかキッズルーム	コミュニティスペース 「gaga8 (ガガエイト)」	レンタサイクル事業

*以下、平成 16 年度実施の「レンタサイクル事業」について報告する。

2. 事業内容

(1) 事業概要

宮崎駅前商店街の空き店舗を、レンタサイクルの貸出し拠点「レンタル・ウィールズ」として活用し、買物客や観光客等の来街者に対して中心市街地の移動手段として自転車等の貸出しを行い、回遊性の向上を図った。

平成 15 年度の事業開始時に新品の自転車を購入し、電動カート、自走式車椅子をリースで用意した。

平成 16 年度からは中心市街地に設置された街の情報発信施設「よってンプラザ」でも貸出しを行い、利便性を向上させた。

「レンタル・ウィールズ」は、アルバイト 5 名の交代制で常時 1 名体制をとっている。貸出し業務だけでなく、利用者アンケート調査等の各種情報収集を行なった。また、“家の自転車よりも快適”をキャッチフレーズに、自転車の清掃・整備をこまめに実施した。

「レンタル・ウィールズのチラシ」

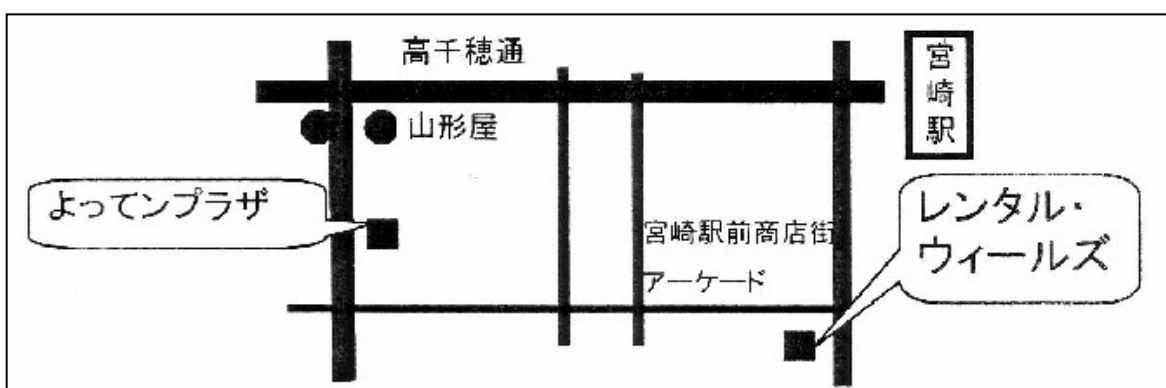


「レンタル品の種類と料金」

レンタル商品	台数	料金
自転車	40 台	3 時間以内無料、3 時間超 200 円
電動カート	3 台	3 時間以内 200 円
自走式車椅子	3 台	5 時間以内 200 円

①実施拠点及び期間

- ・レンタル・ウィールズ 平成 16 年 4 月 1 日～平成 17 年 3 月 31 日
営業時間 4 月～9 月 9 時～19 時
10 月～3 月 9 時～18 時
- ・よってんプラザ 平成 16 年 9 月 1 日～平成 17 年 3 月 31 日
営業時間 12 時～19 時



「2つのレンタサイクルの貸し出し拠点」



「レンタル・ウィールズの様子」～外観（左）、店頭の手づくり案内板（右）

②貸出方法

貸出時にレンタル保証金として 500 円預かり、自転車の貸出が 3 時間までなら無料とし、3 時間を越えると 200 円徴収する。

リピーターが全体の半数を占めることから、16 年度は利便性を高めるために利用者

カードを作成して、貸し出し申請処理を簡略化して利便性を高めるとともに、11回利用した方には“1日無料”の得点を付けるなど、利用頻度に応じたサービスと貸し出し時の便宜を図り、利用頻度を高めた。

(2) 利用実績

- ①利用者数 : 5,557人 (新規利用者2,588人、再利用者2,763人)
- ②利用者内訳 : 市内38.8%、県内42.1%、県外16.8%
- ③利用状況 : 一日平均 15.4人、一日の最大貸し出し数 48人
- ④レンタル収入 : 386,740円 (他雑収入12,000円)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	15年度
稼働日数 (日)	30	31	30	31	30	29	31	30	30	30	28	31	361	120
利用者数 (人)	388	417	392	574	549	523	499	450	552	448	361	404	5,557	1,226
一日平均 (人)	12.9	13.5	13.1	18.5	18.3	18	16.1	15	18.4	14.9	12.9	13	15.4	10.2

【 効 果 】

1. 来街者の行動

貸し出し所であるレンタル・ウィールズが宮崎駅前の立地にあり、電車やバスで訪れた人が多くレンタル自転車を利用しており、特に中心市街地への回遊性を高めることができたといえる。

利用者アンケート結果から、利用者からは「移動が楽で助かった」「便利だった」等の回答が多くあった。また利用目的は、「中心市街地への買い物」が最も多く、他に「観光目的」、「ビジネス、商用」など様々な用途にレンタルサイクルが利用されていることが確認できた。

2. 近隣個店への波及

2回以上のリピーターが利用者全体の47%を占めている。特に車を持っていない中・高校生を中心に本事業の認知度が高まっており、実際利用も多く、中・高校生をターゲットとする店舗への来店頻度が高まった。

3. その他

レンタル・ウィールズのスタッフが非常に熱心で、施設や自転車の徹底した清掃や、利用を促す店頭でのPOP表示、丁寧な対応、街の案内などホスピタリティに長けており、イメージ向上につながっている。また、利用者アンケートや駅前商店街の通行量調査を自主的に実施して集計データを蓄積しており、来街者に関する貴重な資料となっている。

【 課 題 ・ 反 省 点 】**1. PR**

本事業の販売促進として新聞、タウン誌、バス広告等を利用しているが、2年目となっても「通りがかりで知った」という利用者が多く、今後中心地の商店街等と連携して、買い物客へのPRを強化したい。また、観光地という特性を活かして、観光協会やホテル等との連携も検討したい。

2. 事業費の確保

事業継続のための自主財源の確保が課題である。そのため来年以降、利用料金の値上げを検討していたが郊外に大型SCが新規出店するため、料金を値上げすると利用者の減少及び中心地への来街者の減少に繋がる恐れがあることから、料金は現状維持し、利用者の一層の増加を図ることで事業費の確保に努めることとする。

3. その他

来年度には、貸出し拠点を更に1箇所増設し利便性を高める。また現在、返却は借りた場所に戻すことになっているが、どの拠点でも返却できるようにし、利用しやすくなるよう検討する。その際、貸出し時の申込書記入と保証金500円の精算など、拠点同士の連携等事務的な課題がある。

【 事 業 の 実 施 ポ イ ン ト 】

事業実施にあたり、必要不可欠なポイントとして次のものがあげられる。

1. 貸し出し所を設置するにあたり、地元商店街との連携。
2. 商店街の経営者の事業に対する理解と協力。（買い物客へのPR等の協力）
3. 自転車組合等の事業に対する理解と協力。
4. 他の機関のレンタサイクル事業との協調。
5. 行政（観光関係）、各種法人、ホテル等との連携。

【 関 連 U R L 】

宮崎商工会議所 <http://www.miyazaki-cci.or.jp/miyazaki/>